

会 議 録

会議名	平成17年度第6回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	平成18年1月18日(水)午後2時00分から3時15分	
開催場所	宇都宮市役所議会棟 第1委員会室	
出席者	【委員】 小倉一智, 工藤正志, 諏訪利夫, 塚田典功, 中尾久, 佐々木英明 結城笑子, 柿沼光子, 熊本範夫, 手塚修, 斎藤武夫 【事務局】 橋本宇都宮市環境部長, 他25名	
公開・非公開	公開	
傍聴者数	1名	
議題	1. 報告事項 ・一般廃棄物処理手数料の見直しにおける周知方法およびスケジュールについて 2. 審議事項 (1) 事業系ごみのごみステーションへの排出の見直しについて【答申】 (2) 一般廃棄物処理基本計画について ごみ処理基本計画(素案)について 生活排水処理基本計画(素案)について	
会議結果	議題1	排出事業者に対する周知の徹底を検討していく。
	議題2 (1)	原案のとおり, 答申する。
	議題2 (2)	各委員から出された意見等をふまえ, 次回審議会において答申する。

議題1 報告事項

一般廃棄物処理手数料の見直しにおける周知方法およびスケジュールについて

事務局から報告

発言要旨【議題1】

一般廃棄物処理手数料の見直しにおける周知方法およびスケジュールについて

手塚委員	・排出事業者に対する周知について、排出されるごみ量などが記載された報告書を活用し、直接、PRや詳しい説明をしてほしい。
事務局	・周知方法については、出された意見をふまえ、検討していきたいと考える。

議題2,(1) 審議事項

事業系ごみのごみステーションへの排出の見直しについて【答申】

事務局から説明

発言要旨【議題2,(1)】

事業系ごみのごみステーションへの排出の見直しについて【答申】

塚田委員	・見直しに伴う条例改正について、いつの議会で諮るのか。
事務局	・今年度の3月に行われる議会に諮りたいと考える。
工藤会長	・それでは、あらかじめ配布した原案のとおりでよろしいか。
各委員	・異議なし
工藤会長	・事業系ごみのごみステーションへの排出の見直しについて、原案のとおりとする。

議題 2 , (2) の 審議事項

ごみ処理基本計画（素案）について

事務局から説明

発言要旨【議題 2 , (2) の 】

ごみ処理基本計画（素案）について

中尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理費用について，収集や処理に係る直接的な経費のほかに，啓発活動など，施策に係る間接的な経費は含まれているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理費用のなかには，施策に係る間接的な経費も含まれており，全体の費用が記載されている。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な清掃施設の耐用年数について，15年とあるが，南清掃センターや北清掃センターは15年を超えている。現在まで，建設などを検討しなかった理由があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 一般的には15年だが，修繕などの延命化対策により，約30年稼働させることができる。しかし，新清掃施設の建設も含め，今から検討していかなければならないと考える。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店から出る生ごみについて，割合として少ないのではないのか。他の市町村では，どのようなデータになっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> データについては，チェーン店から個人経営店まで，約30業者のサンプリングを行い，平均値を採用している。全国的に事例が少なく，詳細に把握はしていないのだが，他の市町村では，約50パーセントの割合で生ごみが占めているというデータがある。今後も継続して調査を行い，精度を高めていきたいと考えている。
塚田委員	<ul style="list-style-type: none"> 中間処理計画について，その他プラスチック製包装容器の資源化設備とあるが，建設予定地などは考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 建設予定地については，現時点では決まっていない。収集運搬効率や利便性などを鑑みながら，検討していきたいと考える。
塚田委員	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス系廃棄物に係る資源化施設の検討について，メタンガス化や堆肥化などの他に，新たな技術も含めて検討するような表記にはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 新たな技術の含め方や表現の仕方などを，検討していきたいと考える。

議題2,(2)の 審議事項	
生活排水処理基本計画(素案)について	
事務局から説明	

発言要旨【議題2,(2)の】	
生活排水処理基本計画(素案)について	
工藤会長	・合併処理浄化槽の整備について、ごみ処理基本計画のように、短期や中期の目標などは設定しないのか。
事務局	・合併処理浄化槽の補助に係る予算は、年間400基で設定している。現在の状況を考えると、年間400基のペースで合併処理浄化槽への整備を行えば、整備予定年度に完了すると考える。 ・短期や中期の目標を盛り込めるか検討していきたいと考える。
斎藤委員	・生活排水処理基本計画には、処理費用などが記載されていないのだが、それはなぜか。
工藤会長	・ごみ処理基本計画では、ごみ処理費用を記載することで現状を知ってもらう意図があると考えますが、生活排水処理基本計画については記載されない理由でもあるのか。
事務局	・ごみに係る費用については、環境部内の事業のため、事業費を把握することができる。一方、生活排水に係る費用については、下水や農業など、他部局の複数の事業が関連しているため、事業費のなかから課題を把握することが困難であることから、記載しないこととした。
工藤会長	・それでは、今まで出た意見等とパブリックコメントで寄せられた意見をふまえ、次回審議会において、一般廃棄物処理基本計画を答申していくということによるしいか。
各委員	・異議なし
工藤会長	・次回審議会において、答申していくこととする。

発言要旨【その他】

塚田委員	・ごみの収集について、収集時間帯が早い地域と遅い地域で時間差がある。悪臭やカラス等の問題もあるので、午前中の全市収集はできないのか。
事務局	・午前中の全市収集では、人件費や車両など、収集のためのコストがかかってしまうので、現時点では困難である。将来の課題として、収集時間のあり方を検討していきたい。
塚田委員	・ごみの収集は行政の責務でもあるので、できる方法を前向きに検討してほしい。
事務局	・知恵を絞りながら、検討していきたいと考える。